

児童デイサービスすきっぷ神楽Ⅱ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員に対してのスペースは確保されている。	基準に沿ったスペースは確保しているが、職員全体で整理整頓を心がけ、限られた空間を有効に使用できる様にしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		配置基準は満たされている。	配置基準は満たしており、必要な人員は配置できている。運営上必要な人事異動なども踏まえ適正な配置を行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		階段やトイレに手すりを設置している。遊びと支援の時間を明確にするよう配慮している。	子どもの安全と安心を考慮した事業所作りを行っていく。また、安易なバリアフリー化は子どものスキル低下に繋がるため必要に応じて協議していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		整理整頓は心がけて行っている。	今後も安心して過ごせるスペースづくりに努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		研修やミーティングの中で話し合いを行い改善している。	今後も施設内研修やMTGを通して、職員間での話し合いの場を設け業務の改善につなげるよう心がけているが、目標のイメージを持っていないことが目立つため、定着するよう指導していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様の想いや意見を把握しより良い支援につなげるよう話し合いを行っている。	保護者向け評価表の結果を通し事業所内研修を行っている。またその結果を踏まえ、改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価表の結果を全職員で話し合い改善に努めている。玄関掲示とホームページでの公表も行っている。	今後も公表を行うとともに、改善に繋げていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	重要事項に記載しているが第三者評価は行っていない。	必要性を感じた際は随時検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に研修を行い意識の統一化を図っている。	今後もスキルアップの為に職員研修を行っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・児発管が面談を行い保護者のニーズなどの聞き取りを行っている。 ・日々アセスメントを行い、毎日のミーティングで共有している。	毎日のミーティングの中で各利用児の変化や情報を共有し、保護者のニーズや子どもの課題を考え計画を作成していく。アセスメントに対し、できないことばかりが出てしまうため、良いところに目を向け成長に気づけるよう指導していく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		法人として統一したアセスメントを使用している。	法人共通のアセスメントシートを活用していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域連携」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインに基づき児童発達支援計画を作成している。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿った支援が行われてるよう努めている。	今後も継続していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		全職員で立案に携わりより良いアプローチが行えるようにしている。	個人のアイデアだけではなく、全体で様々な意見をだし、ミーティングを通して職員全員が参画し、子どもが楽しめる活動を模索していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期的にMTGにて話し合いの場を持っている。固定しないように工夫している。	様々な体験ができるように活動支援を模索していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個々の課題を基に集団活動と個別活動を取り入れ作成している。	今後もお子様個人の課題に沿った計画を立て、総合的な支援を行っていく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝と昼にMTGを行っている。	今後も必ず朝礼、昼会のMTGを通し職員間での打ち合わせを行い情報の共有を行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後に引継ぎを行い、翌日のMTGで情報を共有するようにしている。	朝や昼のMTGや業務終了後に引継ぎをする時間を設け振り返る時間を今後も大切にしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援の翌日にケース記録、業務日誌を作成している。支援計画に沿った内容が薄い。	様々な支援のアプローチについて、個別支援計画を基に記録していく。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		全職員で会議を行っている。	継続して定期的にモニタリングを行い、状況に応じて計画の見直しを行っていく。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が参加し対応している。	今後も施設長及び児発管が参画していく。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		送迎時に保育園と情報共有を行っている。	必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		看護師を配置していないため、現在該当がない。	受け入れる際には連携を図っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		看護師を配置していないため、現在該当がない。	受け入れる際には連携を図っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて、施設長が対応している。	今後も保護者様からの依頼や同意の基行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの依頼があった際には対応する。	今後も保護者様からの依頼や同意の基行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		現在研修の機会はないが、相談事業所等や医療機関より助言を頂く機会がある。	必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		スキー支援や公園外出を通して一般の方と関わる機会がある。	引き続き活動を通して関わる機会を作っていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加していない。	現在は参加していないが、要請があった場合は参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		面談や送迎時、連絡ノートを通して共通理解に努めている。	継続して電話や面談、送迎などを通して共通理解ができるよう努めていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者様からの相談に助言やアドバイスをさせていただいている。	保護者様に寄り添い、知識を深めてサポートできる様、研修や指導を重ねていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や面談時に行われている。	今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画の内容を保護者様にご同意いただいた上で支援を提供している。	今後も継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に面談を実施し、保護者との情報交換を含め相談する機会を作っている。	今後も必要に応じて助言を行い、気持ちの受け入れ先になれる様努めていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親子クッキングや運動会を実施している。	今後も情勢を踏まえた上で、保護者様同士の連携を支援していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情処理委員会を設置している。	苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理手順」に基づいて対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月通信を発送している。	月1回通信を発行して、活動等の情報を発信している。今後もすきっぷでの様子を楽しみ伝えられるよう努めていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約を交わしたうえで、細心の注意を払っている。また、事業所外へのデータの持ち出しは禁止されている。	今後も研修などを重ね、より一層セキュリティー強化に努めていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎や連絡ノートを使用して情報の伝達を行っている。子どもには視覚提示も取り入れ行っている。	送迎の際、活動内容や子どもの様子などを伝えている。重要な詳細については必要に応じて、施設長から連絡ノート、電話連絡等を行っている。今後は今まで以上に全スタッフがご契約者様との関係構築に努めていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○		住民の招待はセキュリティーの問題からしていないが、町内ゴミ拾いや作品展等の地域貢献活動を行っている。	事業所の開放や不特定の住民を招待する事に関しては、今後も行う予定はないが地域貢献活動等は継続していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		職員研修の実施と、保護者への書面配布を毎年4月に行っている。	変更が出た場合は迅速に情報公開していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に3回(火災、地震、水害)を行い、防犯訓練も取り入れている。	避難訓練を年3回火災、地震、水害で行っている。また、防犯訓練も継続して行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		面談や、フェースシートでの確認を行っている。	継続して取り組んでいく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書はないが、保護者様より対応について細かく指示を受けている。	今後も徹底して対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		共有されている。 作成しているが類似した内容が多く課題となっている。	事例を検証しながら共有し、職員の意識付けや再発防止に努めていく。また、類似した事故が起きないよう具体的な対策をより検討していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人として、委員会を開催している。また、法人研修を実施している。	研修を重ね、適切な対応が出来るよう継続して取り組んでいく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約の際に説明していると共に、法人として委員会を開催している。また、法人研修を実施している。	研修を重ね、適切な対応が出来るよう継続して取り組んでいく。